※令和４年度以降入学生用

学校番号	T0315

令和８年度　日本語科

教科	（学）日本語	科目	（学）日本語ⅣA	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等	自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本語ⅢA の継続で、読む、書く、話す練習を繰り返し行い、正しい日本語を身につけましょう。
個別対応で学習します。

2　学習の到達目標

名詞や指示詞などを用いた日本語の知識や技能を身につける。
名詞や指示詞などを用いた日本語で自分のことを表現することができる。
名詞や指示詞などを用いた日本語を用いて積極的に話したり書いたりする態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実際に日本語を用いた言語活動を通して、名詞や肯定文、否定文、疑問文などについてさらに理解するとともに、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。	情報を整理しながら考えなどを形成し、日本語で表現したり、伝えたりする。論理的に適切な日本語で表現することができる。	自ら進んでコミュニケーションを取り、身近な出来事や日常的な話題について、学習した日本語を用いて自身の考えを伝えようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	名詞	名詞についての学習	a:学習した内容を用いて実際に応用的な日本語を用いた言語活動を通して、名詞について理解することができる。 b:学習した内容を用いて情報を整理しながら考えなどを形成し、応用的な日本語で表現したり、伝えたりすることができる。 c:学習した内容を用いて自ら進んでコミュニケーションを取り、身近な出来事や日常的な話題について、学習した応用的な日本語を用いて自身の考えを伝えようとすることができる。	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題
2学期	文の種類	肯定文についての学習 否定文についての学習 疑問文についての学習	a:学習した内容を用いて実際に応用的な日本語を用いた言語活動を通して、肯定文、否定文、疑問文について理解することができる。 b:学習した内容を用いて情報を整理しながら考えなどを形成し、応用的な日本語で表現したり、伝えたりすることができる。 c:学習した内容を用いて自ら進んでコミュニケーションを取り、身近な出来事や日常的な話題について、学習した応用的な日本語を用いて自身の考えを伝えようとすることができる。	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

3学期	指示詞	これ、それ、あれについての学習 ここ、そこ、あそこについての学習	a:学習した内容を用いて実際に応用的な日本語を用いた言語活動を通して、指示詞について理解することができる。実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。 b:学習した内容を用いて情報を整理しながら考えなどを形成し、応用的な日本語で表現したり、伝えたりすることができる。 c:学習した内容を用いて自ら進んでコミュニケーションを取り、身近な出来事や日常的な話題について、学習した応用的な日本語を用いて自身の考えを伝えようとすることができる。	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度